

市民の声とインターネット

吉村順子

(junko@jca-p.shinagawa.tokyo.jp)

江ノ島 カリフォルニア 地球

暑さが一段落しても、私の周辺はなかなかホットです。前回お知らせした「東アジア女性フォーラム」江ノ島本会議の開催を控え、事務局スタッフはてんてこまい。私も会議の予稿集の作成に追われ、肝心のインターネットへの情報提供に手がまわらない状態。こうしてみると、インターネットへのリアルタイムの情報提供を非営利目的で継続するというのはとてもたいへんなことで、資金難、人材難のNGOにとっては大きな課題です。

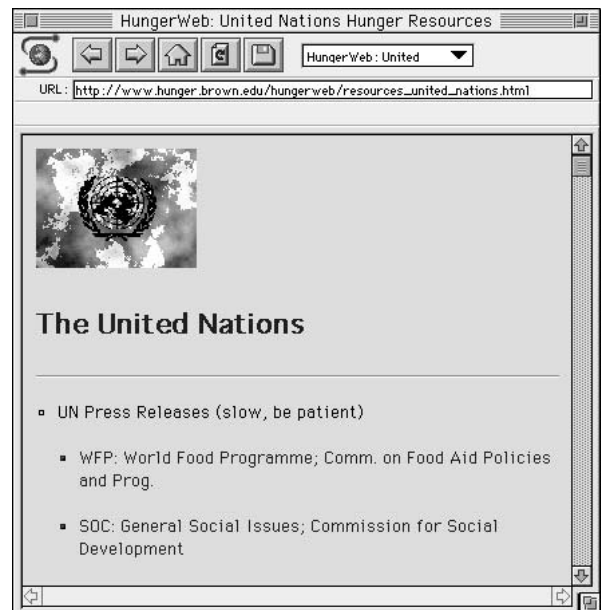
さて、9月にエジプトのカイロで国連世界人口会議が開催されました。会議の最終文書である「今後20年間の行動計画」などをインターネットを通じて入手するにはどうしたらよいでしょう。私の周辺で行われている方法は、The Association for Progressive Communications (APC, 「進歩的コミュニケーション協会」)の加盟ネットワークであるカリフォルニアのThe Institute for Global Communications (IGC, igc.apc.org)のメンバーになりtelnetでアクセスするというものです。

APCは、「平和、戦争の防止、軍国主義の排除、社会的経済的正義の擁護、貧困の除去、持続可能で公平な発展、直接参加民主主義の進歩、そして非暴力による解決などの目的に向かって活動する人々に貢献する」ことを目的とした代表的な国際電子ネットワークで、IGCがインターネットとのゲートウェイになっています。ブラジル、ウルグアイ、コロンビア、ドイツ、エクアドル、ロシア、ウクライナ、イギリス、オランダ、スロベニア、アメリカ合衆国、メキシコ、中央アフリカ、ノルウェー、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ、アルゼンチン、カナダの19か国に加盟ネットワークがあり、ネットニュースで情報の共有が実現されています。

IGCのユーザインターフェイスはいわゆるBBS的なものですが、全部の会議室（ニュースグループ）に対するキーワード検索が容易にできるなど、実用的で個人的には使いやすいと感じています。また、テーマ別の会議室は環境／人権問題を中心に分類が豊富で、関心のある会議室を絞り込みやすくなっています。IGCの場合、利用料金は登録時15ドルで、毎月10ドルの最低料金が必要

です。接続料金はtelnet利用で1時間あたり3ドルですから無理なく利用できる範囲だと思います（国内での電話料金やtelnetサービスプロバイダーの接続料金まで考えると、気楽に使えるとはちょっといけなげいかもかもしれませんね）。

ここ2年あまり私が気にしているのは、上にあげたAPCの加盟ネットワークのなかに日本がないことです。日本はAPCの掲げる問題とは無縁な国でしょうか。私はそうは思いません。日常的にさまざまな迫害がささいなこととして埋もれていっているだけのように思います。そうした問題があることをそれぞれが認めて行動に結びつけていかないと、誰かがその犠牲になっていきます。今回、「東アジア女性フォーラム」江ノ島本会議で提示される日本や東アジア各国・地域の女性たちが協力して書いたレポートをIGCやインターネットに向けて発信することで、多くの人がささいな問題として片付けていることが、結局地球の問題（つまり自分自身につながる問題）としてとらえる機会になるに違いありません。いっしょに考え、行動する仲間になりませんか？





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp